

Workshop on Accurate Environment and Climate Change Monitoring with Passive Microwave Sensor

「マイクロ波放射計による高精度な地球環境・気候変動監視」ワークショップ

東海大学では、3月中旬より4月末まで、NASAのJosefino Comiso博士を招聘研究員として迎え、本学の長幸平教授と共同研究を実施しています。Comiso博士は、衛星搭載マイクロ波放射計による海氷観測の第一人者で、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の第4次報告書の雪氷部門の主筆を担当し、マイクロ波放射計の長期観測データから北極域の海氷の減少傾向を明確に指摘しました。今回、同博士の滞在の機会を利用し、急きょ、標記ワークショップを開催することになりましたのでご案内します。皆様の積極的なご参加をよろしくお祈りいたします。

記

日時：4月25日13:00～17:30

会場：東海大学代々木校舎2号館1F C翼2C11教室

(小田急線代々木八幡駅または千代田線代々木公園駅下車徒歩約10分)

- 13:00-13:05 趣旨説明 長 幸平 (東海大学)
- 13:05-13:15 マイクロ波放射計の国際的な重要性
Christopher Blackerby (米国大使館 / NASA)
- 13:15-13:45 極域における気候変動の兆候 Josefino Comiso (NASA)
- 13:45-14:05 高性能マイクロ波放射計による全球観測～AMSR-EとAMSR2がもたらしたもの
可知美佐子 (JAXA)
- 14:05-14:20 世界の地球観測衛星開発計画におけるマイクロ波放射計の位置付け
下田陽久 (東海大学)
- 14:20-14:40 休憩
- 14:40-15:00 海氷観測におけるASMR2の先進性 長 幸平 (東海大学)
- 15:00-15:20 北極域データアーカイブによるAMSR2データの利用推進
矢吹裕伯 (国立極地研究所)
- 15:20-15:40 マイクロ波放射計データの水産への応用 斎藤克弥 (JAFIC)
- 15:40-16:00 数値予報でのAMSR2データ利用 計盛正博 (気象庁)
- 16:00-16:10 休憩
- 16:10-16:30 マイクロ波放射計による洪水監視 竹内 渉 (東京大学)
- 16:30-16:50 JAXAの地球観測衛星計画 吉村 善範 (JAXA)
- 16:50-17:30 総合討論
パネラー：坂田俊文、中須賀真一 (東京大学)、福田徹 (RESTEC)
- 17:40-19:00 懇親会 (代々木校舎4号館2階Ycafe、参加無料)

■お問い合わせ

東海大学情報技術センター (担当：長・恵多谷)

TEL : 03-3481-0611

e-mail : tric@tokai.ac.jp HP : <http://www.tric.u-tokai.ac.jp>

申込みは不要ですが、準備の都合上、事前にメールで参加をお知らせ頂けると助かります。